

2022年5月12日

木材業景況調査結果

第452回（令和4年4月分）

（一社）全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

4月は、販売量については、流通部門で減少、製造部門については増加した。仕入量については、流通部門・製造部門とも変わらなかった。販売価格、仕入価格については、流通部門・製造部門とも上昇した。特に流通部門で販売量の減少が目立っている。

5月は、販売量、仕入量については、流通部門では変わらずの見通し、製造部門では増加の見通しとなった。また、販売価格については、流通部門では強含み、製造部門では変わらずの見通し、仕入価格については、流通部門・製造部門とも強含みの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材、北洋材（欧州材を含む）、国産材については、流通部門・製造部門とも強含み予想となった。また、建材も強含み予想である。今回もすべての部門で強含み予想となっている。

引き続き関東、中京のビルダー中心に受注は好調だが、東北、関西地方では受注の減少が見られるなど地域差が出てきている。大手ビルダーは、どこも今期の着工目標を前期比プラスとしており、今後も安定した受注が見込めるものと思われる。また、大手ハウスメーカーも現在の受注状況はあまり良くないが、好調であった昨年度の受注材を抱えているため、今のところ加工依頼は好調。また、首都圏等では、昨年材料不足から着工を見送った非住宅物件の見積もり依頼が好調。引き続き、輸入資材の供給に不安がある中、国産構造材の引き合いは増加している。そのような中で、運賃、電気料金、人件費等材料費以外のコスト高の影響が懸念される。

景況調査

令和4年4月分集計表 ()内は実数

モニター数133 回答86 回収率65%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加19% (16)	変わらず50% (43)	減少31% (27)
仕入量	増加21% (18)	変わらず52% (45)	減少27% (23)
販売価格	上昇37% (32)	変わらず58% (50)	下降 5% (4)
仕入価格	上昇47% (40)	変わらず50% (43)	下降 3% (3)

来月の見通し

販売量	増加19% (16)	変わらず59% (50)	減少22% (19)
仕入量	増加15% (13)	変わらず61% (52)	減少24% (20)
販売価格	強含み42% (36)	保ち合い54% (46)	弱含み 4% (3)
仕入価格	強含み52% (44)	保ち合い46% (39)	弱含み 2% (2)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	71% (45)	19% (12)	10% (6)
南洋材	67% (37)	29% (16)	4% (2)
北洋材(欧州材を含む)	80% (49)	15% (9)	5% (3)
国産材	56% (45)	39% (31)	5% (4)
建 材	69% (41)	27% (16)	3% (2)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	26% (15)	61% (35)	12% (7)

〔製造部門〕

モニター数126 回答数80 回収率63%

当月の状況

販売量	増加29% (23)	変わらず59% (47)	減少13% (10)
仕入量	増加20% (16)	変わらず65% (52)	減少15% (12)
販売価格	上昇31% (25)	変わらず63% (50)	下降 6% (5)
仕入価格	上昇35% (28)	変わらず56% (45)	下降 9% (7)

来月の見通し

販売量	増加30% (24)	変わらず56% (45)	減少14% (11)
仕入量	増加23% (18)	変わらず65% (52)	減少13% (10)
販売価格	強含み25% (20)	保ち合い74% (59)	弱含み 1% (1)
仕入価格	強含み39% (31)	保ち合い56% (45)	弱含み 5% (4)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	69% (18)	19% (5)	12% (3)
南洋材	52% (11)	43% (9)	5% (1)
北洋材(欧州材を含む)	68% (17)	24% (6)	8% (2)
国産材	59% (45)	34% (26)	7% (5)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	42% (14)	48% (16)	9% (3)